

見つけよう小高のよさ



小高区4小学校4年生

見つめよう小高のよさ ～大悲山物語～

大悲山の物語とは

たまいちというお坊がいました。お坊は、目が見えなくていつもやくしどうで、おがんでいました。ある日、お坊がびわをひいていると、人間に化けた大蛇と絶対言わないとなにかを、約束したけど、観音様に「あなたにやさしくしてくれた人が、死んでしまうのよ。」と言われて、とのさまに言って、たまいちはお約束おやぶったので殺されてしまいました。でも、たまいちのおかげで、小高の町が守られました。



左の絵は、相馬の殿様に大水が来ることを玉都が伝えているところです。

右の絵は、薬師堂の観音様です。

下の絵は、大蛇が出てきて洪水になったところです。



ぼくは、調べてみて、大蛇にもおくさんもいたことなどがわかりました。読むと面白いので、もし小高にきたときは、みつけて読んでみてください。

見つめよう小高のよさ ～小高大悲山の角部内～

角部内のでんせつ

福浦の地名、角部内には、大蛇物語の伝説と関係があります。大蛇の角が落ちたといわれているので、角部内（つのべうち）というようになったそうです。



いろいろ見学をして

見学して、わたしは、行く前や調べる前は、角部内のことや、伝説の話も全然わかりませんでした。見学をしてみているいろいろなことがわかりました。薬師堂石仏は、本当は、入れないけど、特別に、入れてもらいました。わたしは、昔の人が、時間かけて、作ったものを大切にしていきたいです。

見つめよう小高のよさ ～大悲山物語に関係する地名～



大悲山は、小高駅から南へ3キロメートルのところにあります。大悲山には、大蛇物語の伝説があり、小高には、そのゆかりの地名が今も残っています。

- 女場 大蛇の歯が落ちたところ（福浦）
- びわ橋 玉都のびわが落ちたところ（小高神社の近く）
- 金子坂 大蛇をたいじするための鉄くぎをきたえたところ（小高）
- 蛇巻き山 大蛇が巻き付いた山（大悲山）

大悲山物語に関係のある地名を知って、わたしは、大蛇の歯が落ちたところが今も残っているのすごいなと思いました。

見つめよう小高のよさ —大悲山の耳谷—

耳谷（みみがい）という地名の意味

地名の意味は大蛇物語で大蛇の耳が落ちたとされる場所なので耳谷といいます。



見学をした感想

見学をして、ぼくは今までの小高の人達は大きな蛇物語を大切にしてください。たんだと思いました。また、ぼくも大蛇物語を大切にしていきたいと思いました。

ほかにも大悲山にはこのような所があります。

- ・角部内
- ・蛇巻山
- ・女場
- ・薬師堂石仏
- ・大悲山の大杉



ぜひ、小高に来てください！

見つめよう小高の良さ ～大悲山観音堂石仏～

観音堂石仏

観音堂石仏は、高さ9メートルの
日本最大級の石仏です。



顔半分がはがれ落ちていますがたくさんの
手や顔が確認出来ることから十一面千手観音
であることがわかります。

私は、ずっと前からほられて
いるんだなと思いました。
ぜひみなさんも小高に来てみ
てください。

いつでも見学出来るので、
ぜひ来てください。



見つけよう小高の良さ ～大悲山観音堂石仏

観音堂石仏は、高さ9メートルの日本で最大級の石仏です。小さい仏様がかべにたくさんほられています。仏様には、手が千本あります。



石仏は、観音堂にあり、いつもはかぎがかかっています。いつでも見学ができます。



ぼくは見学をして、1000年以上も石仏がこわれないで残ったことがすごいと思いました。昔の人が、時間をかけて大切に作り、そして、大切に守ってきたのだと思いました。ぼくもこれから、石仏を大切に守っていきたいと思います。



見つめよう小高のよさ ～大悲山の大杉～

大悲山にある大杉は、薬師堂石仏の近くに
あります。4年生のみんなバスで見学に行き
ました。1年間で県内外から8000人の観
光をするお客様が来てくださるそうです。

樹齢は、千年に及ぶ
ものと思われます。
福島県の天然記念物
に指定されています。



大杉の高さは、45
メートル、周囲は8
5メートルあります。

大杉の見学をして、わたしは、
木が10000年以上も生き続
けているのでおどろきました。
また、小高にこのような県の
天然記念物があることをうれ
しく思いました。たくさんの
人に見てほしいと思います。



見つけよう小高のよさ
～大悲山物語の地名～
～野馬追い～

大悲山大蛇物語の絵が大蛇公園にあります。



角部内…大蛇の角が落ちたところ
耳谷…大蛇の耳が落ちたところ
廿場(おなば)…大蛇の歯が落ちたところ



野馬かけ
白い馬は神の馬と
呼ばれています。小
子人と呼ばれる人が
神様にお供えする馬
を捕まえます。

小高には、素晴らしいものや行事がたくさんあります。ぜひ小高に来てみてください。